

組付要領書及び部品表

Takakita

マニアスプレッド用テールランプアタッチ

DL-810-TL

適用機種

DL-810



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も大切に保管してください。

本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットから右記 QR コードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**マニアスプレッダ用テールランプアタッチ**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。
また、ご使用前には作業機本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みにになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡しください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
公道走行するときは	1
1. 必要な運転免許証について	1
2. 保安基準への適合性確認	2
3. 灯火器類・ステッカーの取付け	3
マニアスプレッド用テールランプアタッチの組付け	10
1. 組付け手順	10
2. セーフティチェーンの組付け	13
配線図	15

⚠ 安全に作業するために

公道走行するときは

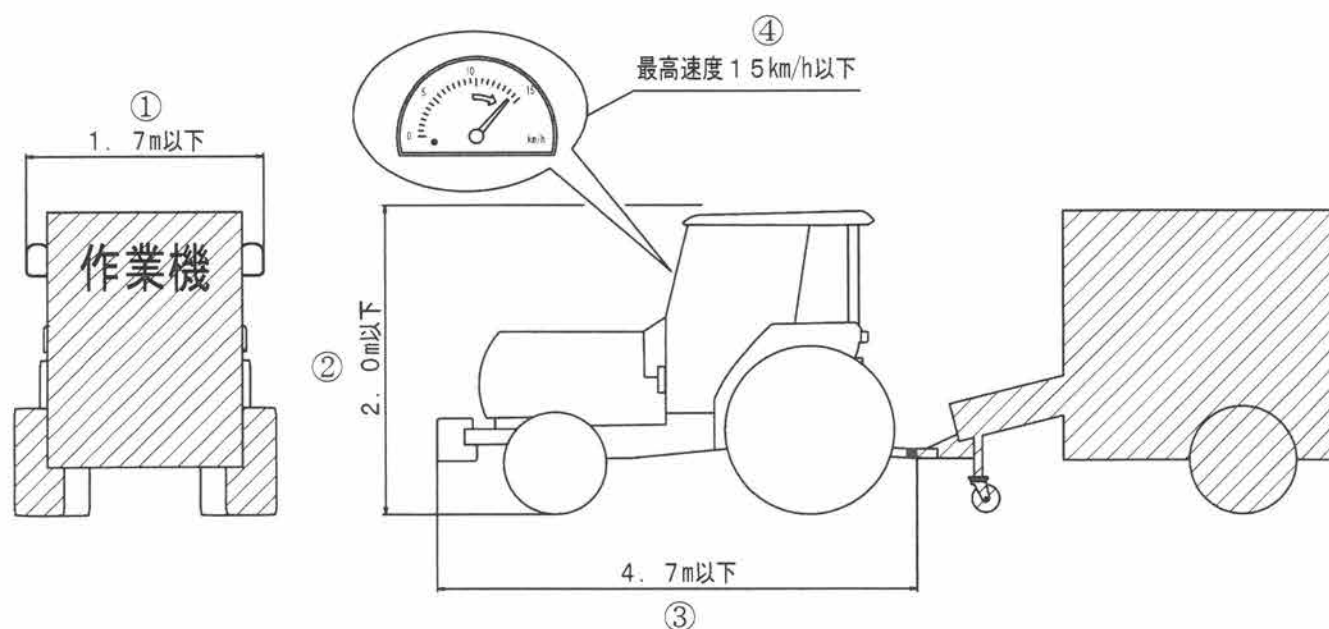
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、けん引タイプの作業機で公道走行を行うことができます。公道走行をする際は、下記項目を確認した上で必要な対応を行い、法令遵守して走行してください。

(1) 必要な運転免許証について

トラクタの寸法が下表①～③の数値以内で④最高速度15km/h 以下の場合は小型特殊免許で運行可能になりますが、下表①～④の数値をひとつでも上回る場合、大型特殊免許（農耕用に限る、も含む）とけん引免許（農耕用に限る、も含む）が必要となります。ただし、車両総重量750kg を超えない農耕作業用トレーラをけん引する場合、けん引免許（農耕用に限る、も含む）は必要ありません。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ① 全幅1.7m | ② 全高2.0m（安全キャブや安全フレームは2.8m） |
| ③ 全長4.7m | ④ 最高速度15km/h 以下 |

下図を参考にご確認ください。



⚠ 安全に作業するために

(2) 保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。

いずれの場合も農耕作業用トレーラ、農耕トラクタの使用者が保安基準適合性を確保する必要があります。

けん引車の農耕トラクタの種別	農耕作業用トレーラの種別と手続き
小型特殊自動車	[小型特殊自動車] ①一般的な大きさのもの ※1 ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要はありません。
大型特殊自動車 (自動車検査証にけん引時の速度制限の基準緩和を受けた旨の記載があるもの)	②全幅が2.5mを超えるもの ・道路管理者(地方整備局、各都道府県、各市町村等)に対し、個別に特殊車両通行許可を受ける必要があります。 ③長さが12mまたは全高3.8mを超えるもの ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。
大型特殊自動車 (上記以外のもの)	[大型特殊自動車] ①一般的な大きさのもの ※2 ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 ②長さが12mまたは高さが3.8mを超えるもの、その他オーバーハング等の基準を超えるもの ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。

※1 全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを超えない大きさのもの

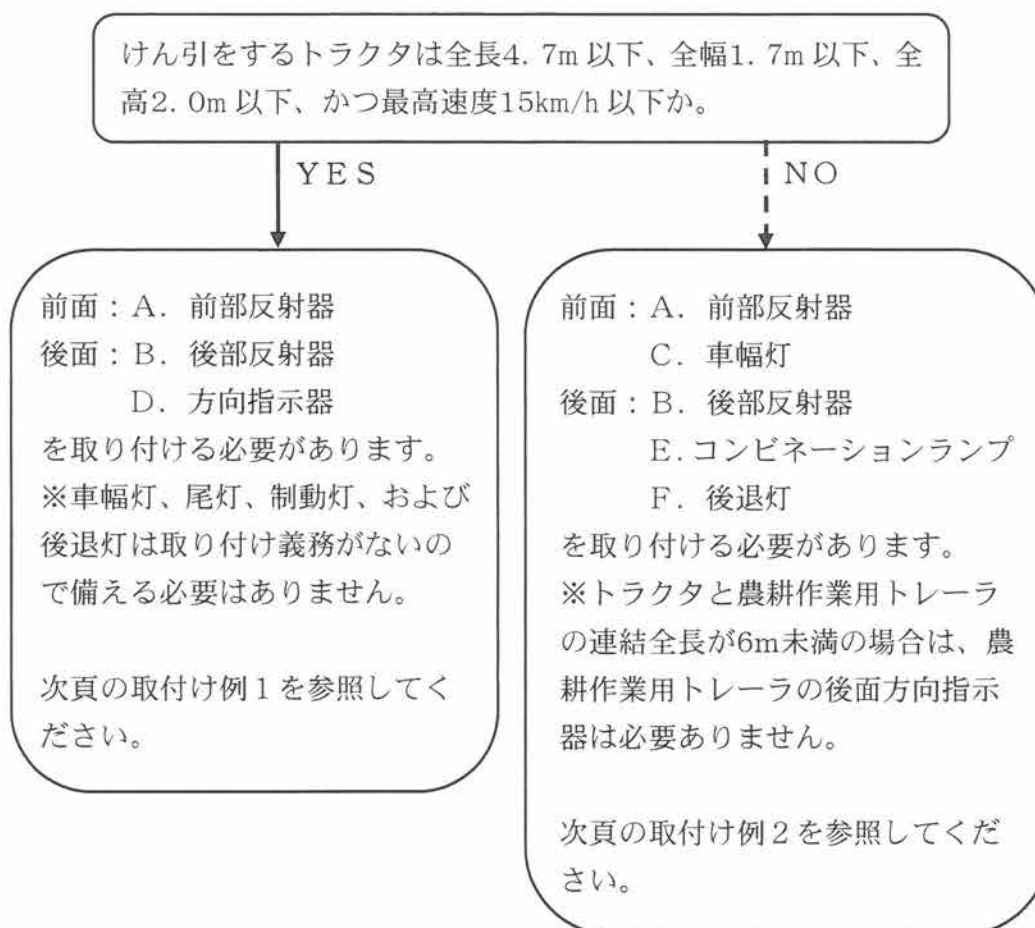
※2 農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結全長が12mを超える場合、道路管理者(地方整備局、地方自治体等)から、特殊車両通行許可を受ける必要があります。

⚠ 安全に作業するために

(3) 灯火器類・ステッカーの取付け

下記フローチャート①～③を全てそれぞれについてご確認ください、必要に応じて公道走行を行うための追加装備を取付けてください。

①トラクタの大きさ、最高速度による灯火器取付け位置



A.前部反射器	B.後部反射器	C.車幅灯	D.方向指示器
			
E.コンビネーションランプ		F.後退灯	
			

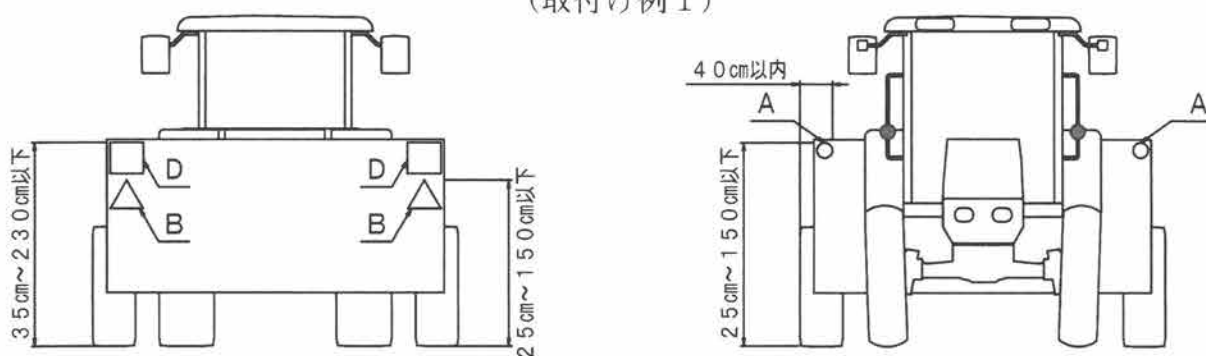
⚠ 安全に作業するために

● 装備の取付け位置

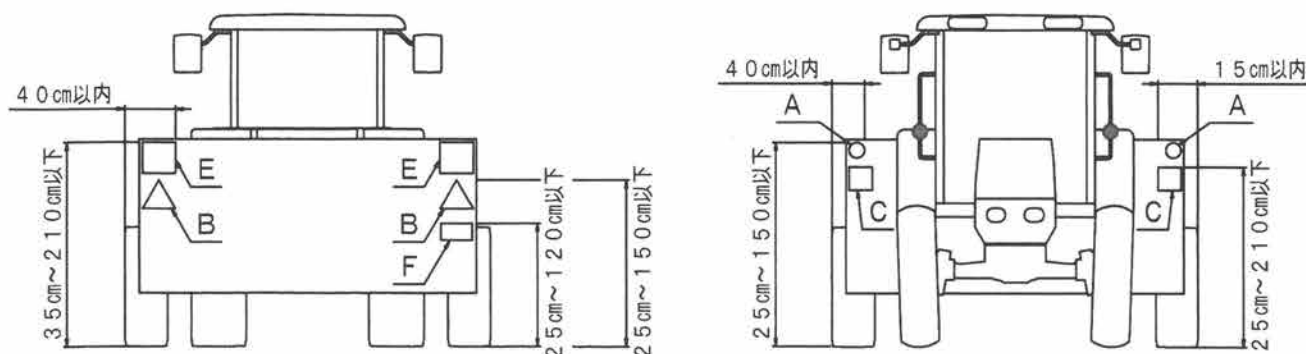
- ・ 道路運送車両の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置は定められています。
 - 前部反射器(リフレクター) 最外側から40cm 以内、高さは地上25cm 以上150cm 以下
 - 後部反射器(リフレクター) 最外側から40cm 以内、高さは地上25cm 以上150cm 以下
 - 車幅灯(ポジションランプ) 最外側から15cm 以内、高さは地上25cm 以上210cm 以下
 - 方向指示器(ウインカー) 最外側から40cm 以内、高さは地上35cm 以上230cm 以下
 - 尾灯(テールランプ) 最外側から40cm 以内、高さは地上35cm 以上210cm 以下
 - 制動灯(ブレーキランプ) 最外側から40cm 以内、高さは地上35cm 以上210cm 以下
 - 後退灯(バックランプ) 高さは可能な限り25cm 以上120cm 以下
- ・ 車幅灯は前方から確認(視認)できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。
- ・ コンビネーションランプ※は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。
- ・ 後退灯は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たすように取付けてください。

※コンビネーションランプ・・・方向指示器、尾灯、制動灯が一体化したもの

(取付け例 1)

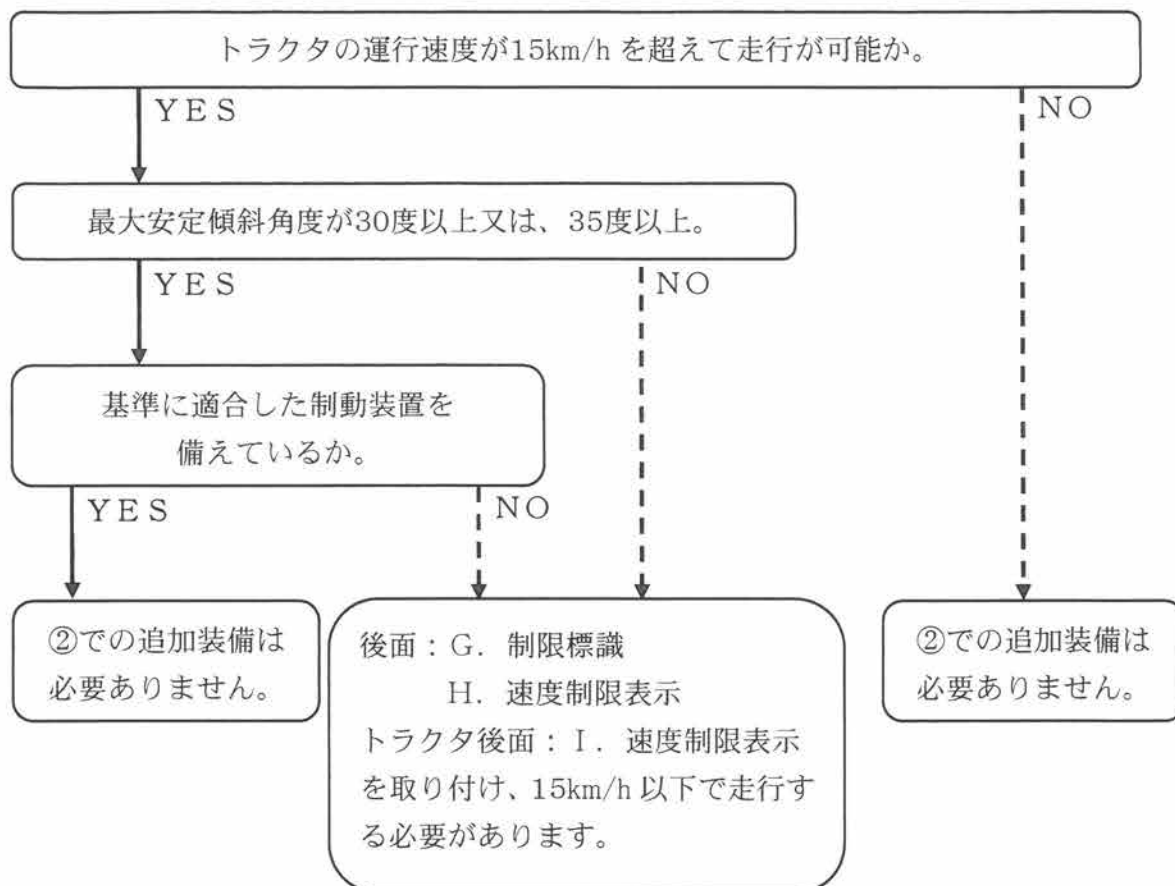


(取付け例 2)



⚠ 安全に作業するために

②トラクタの運行速度



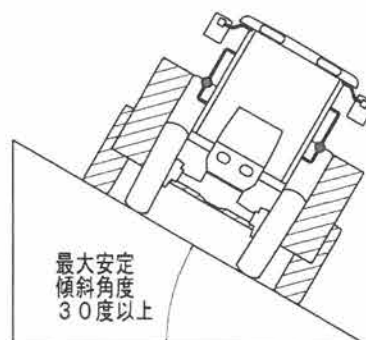
●最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km/h 以下で走行してください。

<安定性に関して>

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上又は、35度以上（車両総重量が車両重量の1.2倍以上又は、積載により重心高さが上がるもの）であれば、通常の方法で道路走行できます。

上記条件を満たさない場合は、

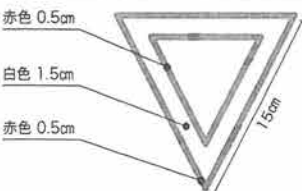
- ・運行速度15km/h 以下での道路走行
- ・道路走行をする際に、Gを作業機後面に表示、
Hを作業機後面に表示、
Iをトラクタ後面・運転席に表示
を行う必要があります。



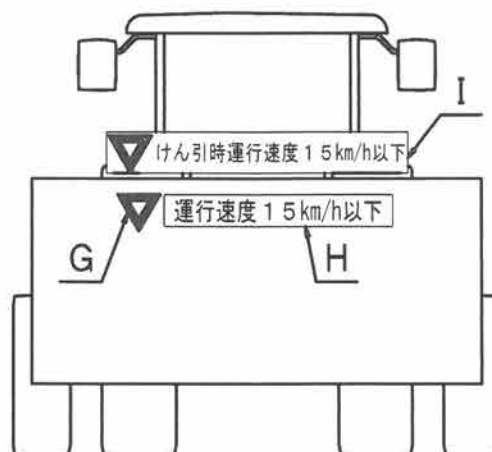
⚠ 安全に作業するために

● 装備の取付け位置

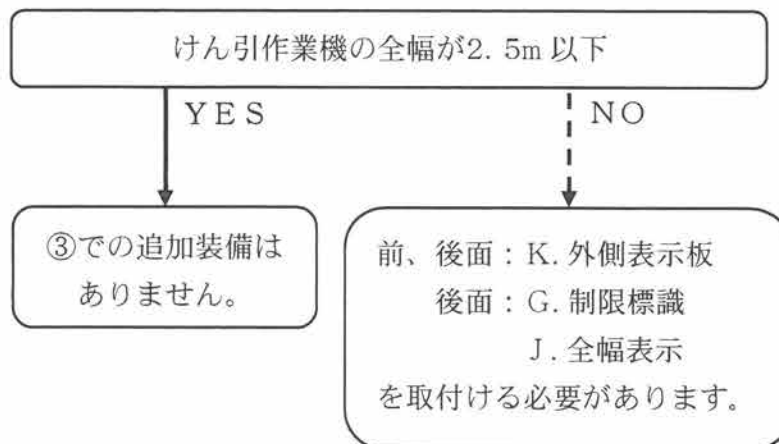
- ・ G、H、I は後方から確認できる位置に取付けてください。
- ・ I は運転席にも表示する必要があります。

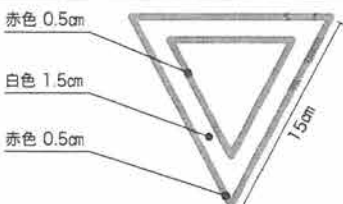
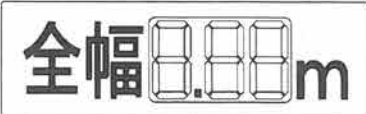
G. 制限標識	H. 速度制限表示（作業機側）
	
I. 速度制限表示（トラクタ側）	
	

（取付け例）



③ 作業機装着時の全幅



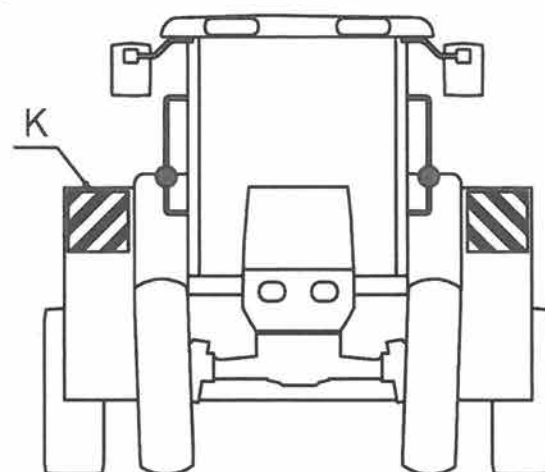
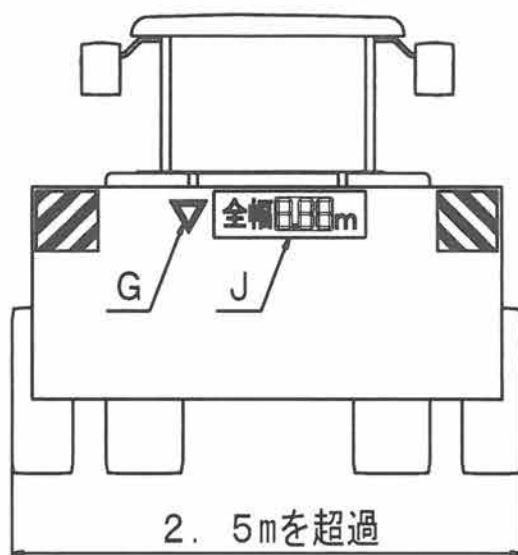
G. 制限標識	J. 全幅表示	K. 外側表示板
		

⚠ 安全に作業するために

● 装備の取付け位置

- ・ G、J は後方から見やすい位置に取付けてください。
- ・ K は前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。

(取付け例)



⚠ 安全に作業するために

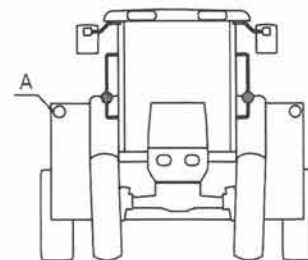
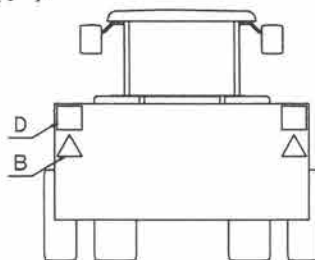
灯火器類・ステッカー取り付け例

灯火器取付け位置

車幅灯
前部反射器
尾灯
後部反射器
制動灯
方向指示器
後退灯

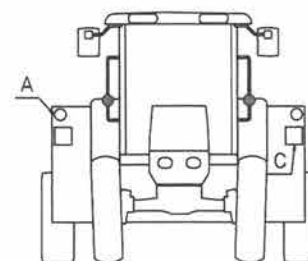
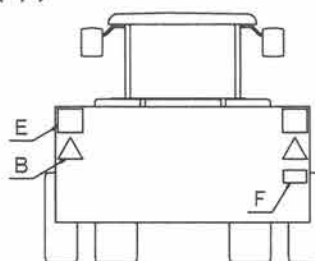
全長4.7m以下、
全幅1.7m以下、
全高2.0m以下、
最高速度15km/h
以下の場合

(ア)



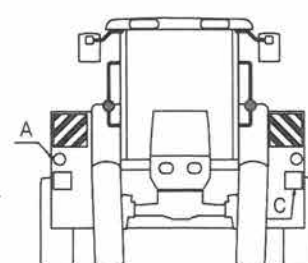
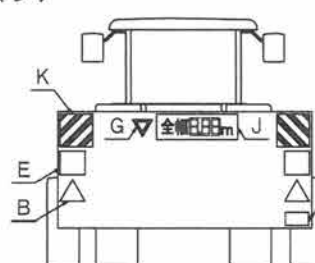
上記の寸法
または最高速度
15km/hを1つでも
上回る場合

(イ)



全幅が2.5mを
超える場合

(ウ)



灯火器・ステッカー

A. 前部反射器

B. 後部反射器

C. 車幅灯

D. 方向指示器

E. コンビネーションランプ

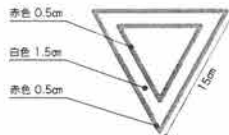


F. 後退灯

G. 制限標識

H. 速度制限表示
(作業機側)

I. 速度制限表示
(トラクタ側)



運行速度15km/h以下

けん引時運行速度15km/h以下

J. 全幅表示

K. 外側表示板

全幅8.8m

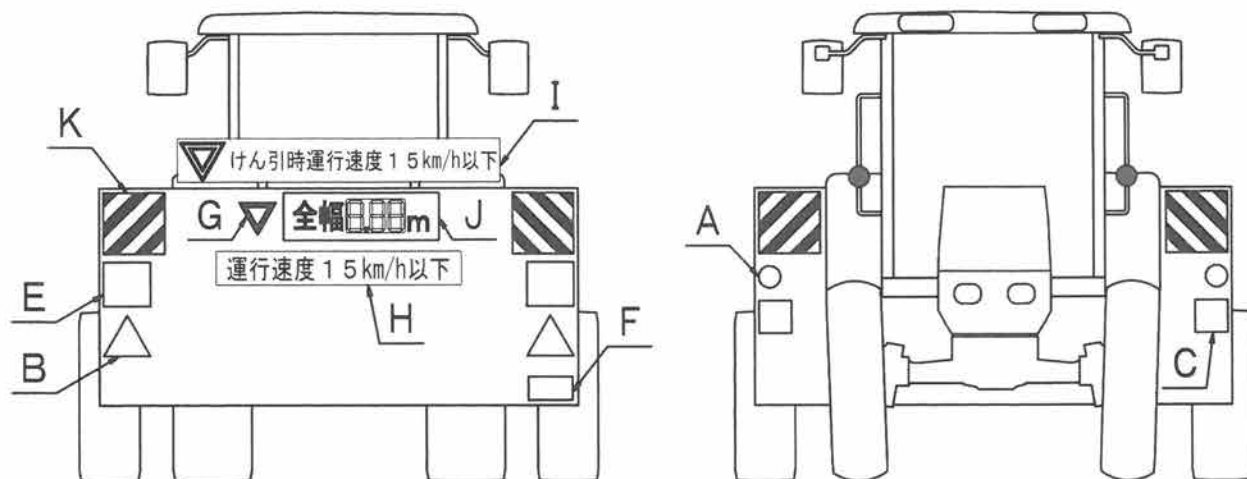


※全幅2.5m を超過する場合は、道路管理者 (国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村) から特殊車両通行許可を得る必要があります。

⚠ 安全に作業するために

- p. 5 「②トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。

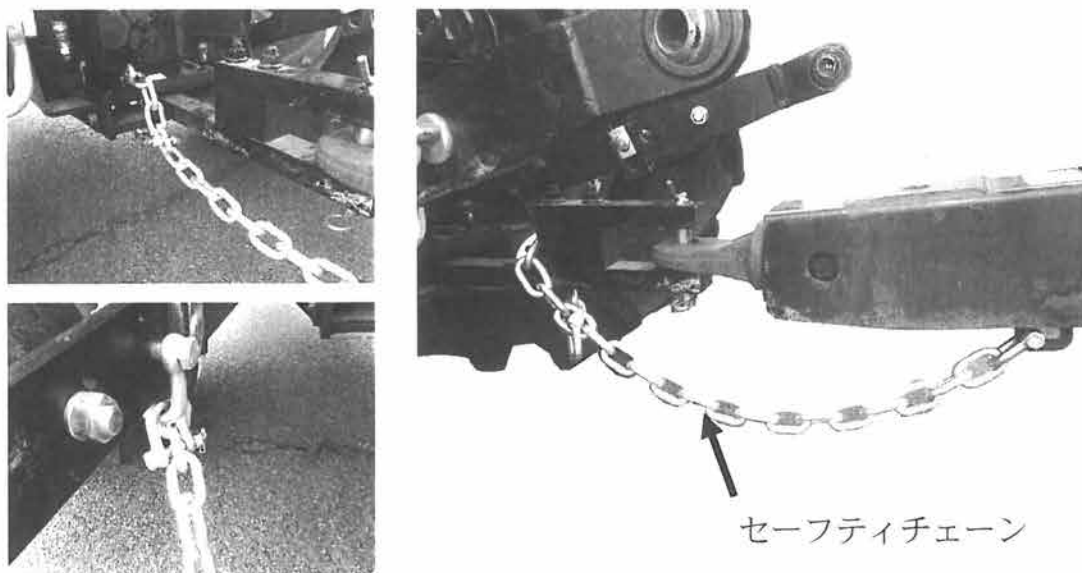
例：(ウ) に速度制限表示を追加



- 灯火器類取付けの際には、トラクタの操作と連動して点灯することを確認後に公道走行を行ってください。また、灯火器類・ステッカーが汚れたときは視認できるように掃除をしてください。

(4) 農耕作業用トレーラの構造要件 (分離時の連結維持構造) に関して

農耕トラクタが農耕作業用トレーラをけん引した際に、不意に連結装置（ドロバ等）が分離したときでも農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結を保つことができる構造でなければ道路走行できません。セーフティチェーン等を備え、けん引時にはセーフティチェーン等をねじ止め等でつないで道路を走行してください。



セーフティチェーン

詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>)をご覧ください。
 その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

マニアスプレッド用テールランプアタッチの組付け

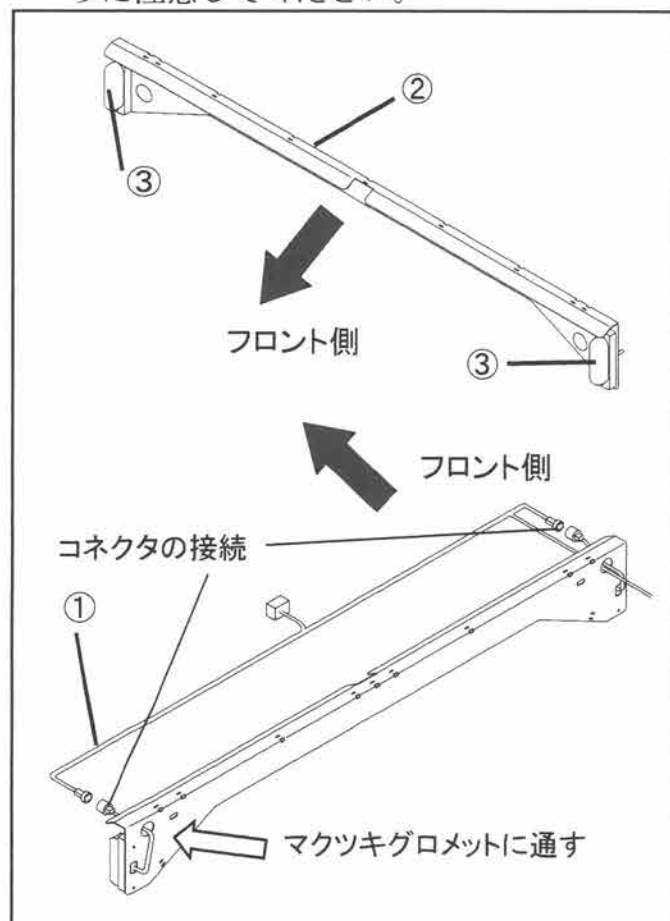
このたびはテールランプアタッチをお買い上げいただき、ありがとうございます。組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

●開梱されましたら、組付前に部品表の部品が全て含まれているかをご確認のうえ、組付けを行ってください。

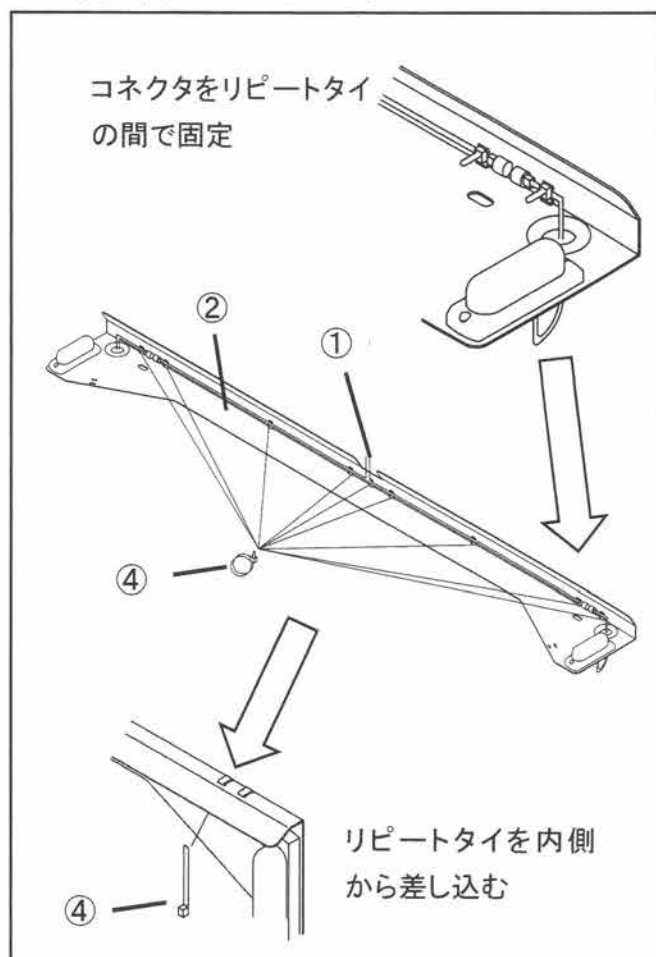
●図中のフロント側矢印は、作業機進行方向を示しています。

(1) 組付け手順

[1] ①ホアンハーネスのコネクタと②シャハバトウステーに取付けられている③ポジションランプのコネクタを接続してください。その際に、ポジションランプのコネクタをフロント側に通してください。長いホアンハーネスが進行方向右側になるように注意してください。

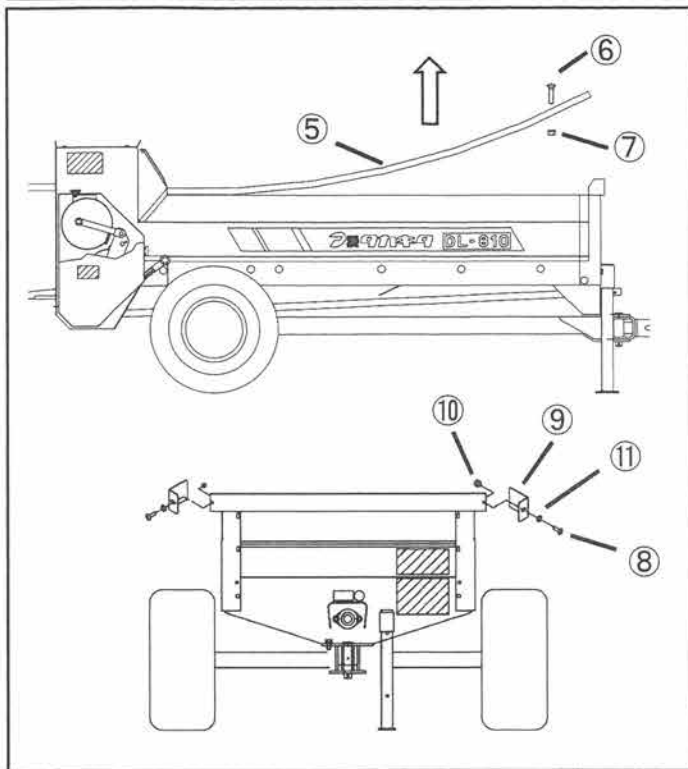


[2] ①ホアンハーネスを②シャハバトウステーに固定してください。その際に、シャハバトウステーのハーネス固定用の穴に④リピータイを挿し込み、ハーネスを仮固定してください。この時、リピータイの留め部が内側に入る様に内側から差し込みます。また、コネクタはリピータイの間で留めてください。

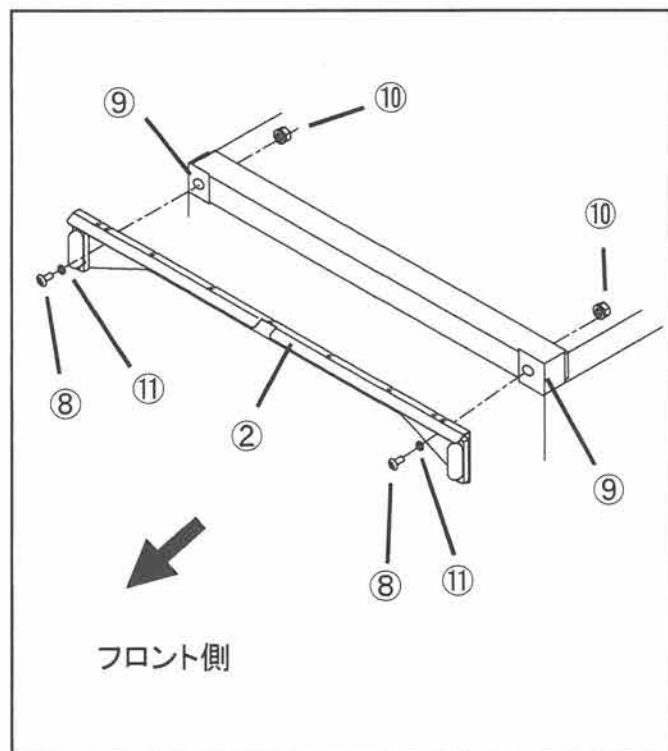


[3] 本機の⑤パネルカバー(左右)を、各7箇所の⑥ネカクボルト(8×45)と⑦スプリングナットを緩めて取外します。次に、本機前面部の⑧トラスコネジ(8×16)を緩めて、⑨コーナーカバー(左右)、⑩スプリングナット⑪ヒラザガネを取外します。これらの部品は、後ほど使用する為、捨てないでください。

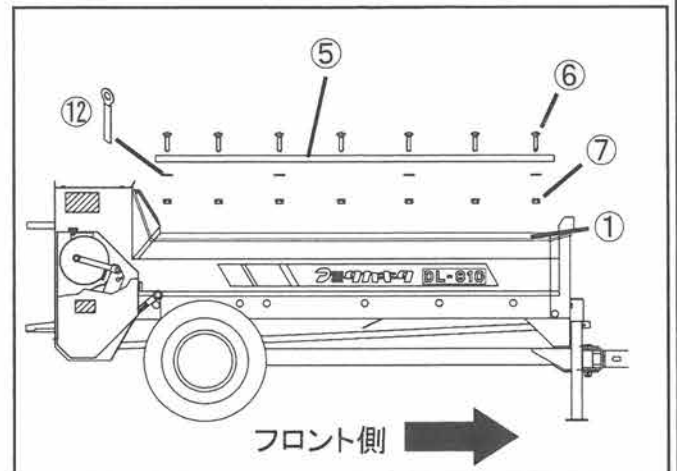
マニアスプレッド用テールランプアタッチの組付け



- [4] 外した⑨コーナーカバーと⑪ヒラザガネの間に②シャハバトウステーを入れ込み、先ほど取外した⑧トラスコネジ(8×45)と⑩スプリングナットで共締めしてください。

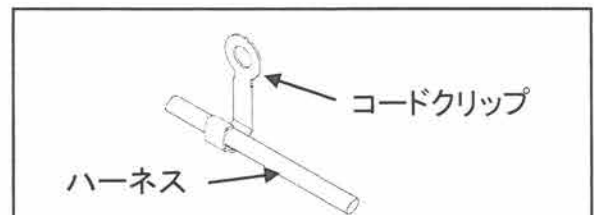


- [5] ⑤パネルカバーを、⑥ネカクボルト(8×45)と⑦スプリングナットで組付けます。この時、パネルカバー(右)の下側に⑫コードクリップを4か所共締めしてください。そして、①ホアンハーネスを進行方向右側に添わせて、先ほど共締めした⑫コードクリップで固定してください。

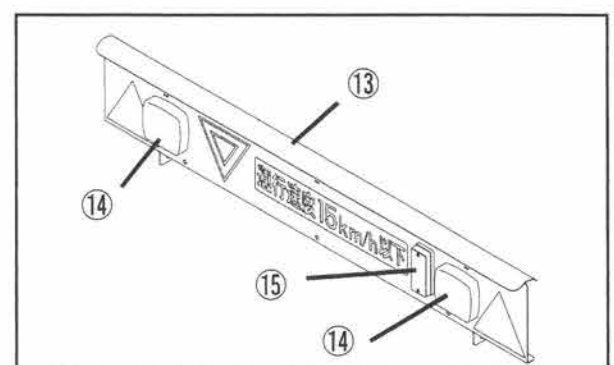


注意

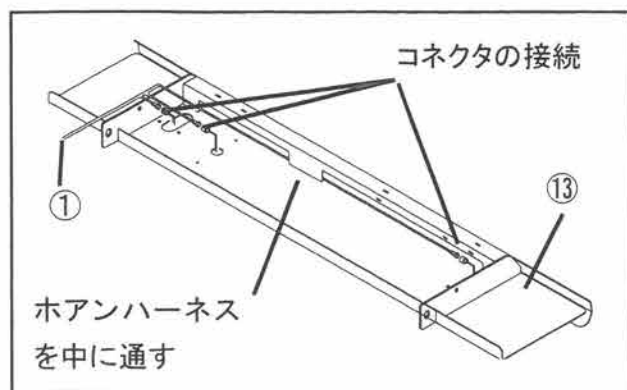
ハーネスを固定する時は、コードクリップを下図のように指で折り曲げてください。コードクリップは指で簡単に曲げることができます。



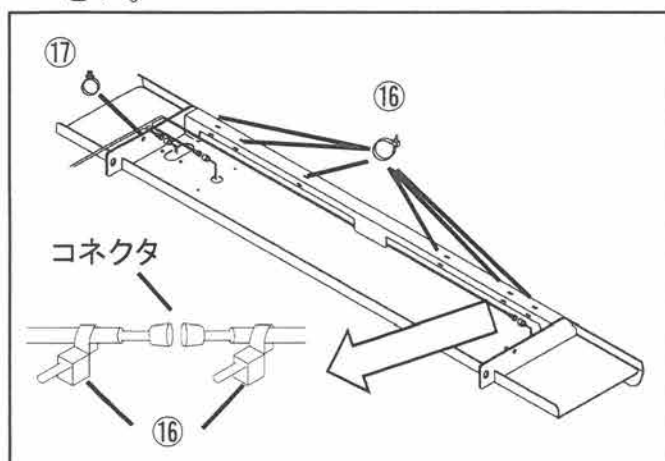
- [6] ①ホアンハーネスのコネクタと、⑬バックランプベースに取付けられている⑭LEDリアランプと⑮バックランプのコネクタを接続してください。その際に、①ホアンハーネスは⑬バックランプベースの中央の空間に通してください。



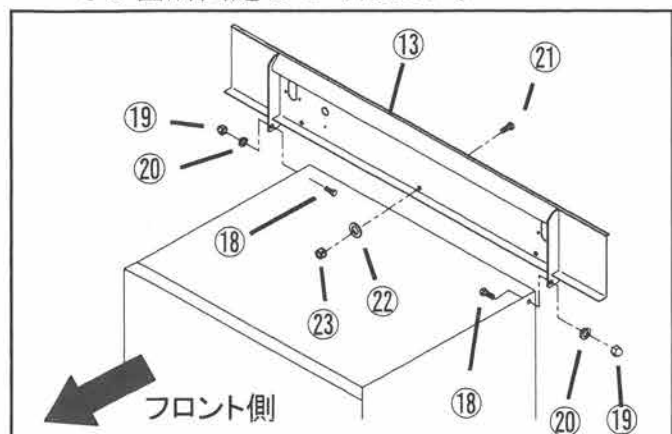
マニアスプレッド用テールランプアタッチの組付け



- [7] ①ホアンハーネスと⑬バックランプベースを⑯リピータイ・⑰プッシュマウントタイで仮固定してください。この時、コネクタは⑯リピータイの間に留めてください。



- [8] ⑱ボルト(10×20)を緩めて、⑲フクロナットと⑳バネザガネ10を取外し、本機と⑳バネザガネ10の間に⑬バックランプベースを共締めしてください。そして、本機と⑬バックランプベースを㉑ボルト(8×20)と㉒ヒラザガネ、㉓スプリングナットで3箇所固定してください。



- [9] 全体の長さを調整しながら、本留めしてください。配線が擦れたり挟まれたりしていないか、旋回した際に配線が引っ張られていないかを十分に確認してください。

警告

コードに傷がつくと正常な点灯が行われず、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

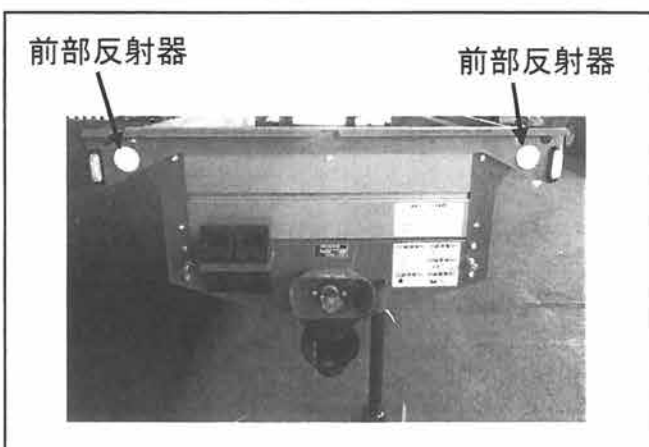
- [10] ハーネスの8Pコネクタをトラクタの灯火装置用コネクタに接続し、ランプが正常に点灯することを確認してください。



注意

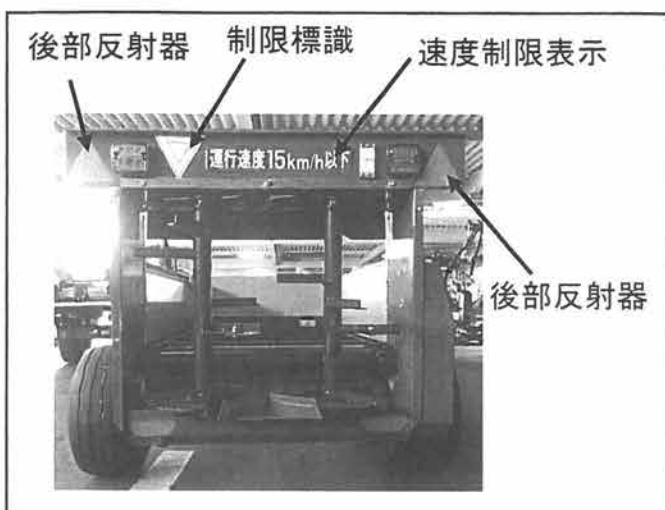
コネクタの形状が異なる場合は、付属の簡易変換ハーネスを使用してください。

- [11] 公道走行時に必要なステッカーが下図のように貼付けられているかを確認してください。



作業機前面

マニアスプレッド用テールランプアタッチの組付け



作業機後面

前部反射器及び後部反射器は、左右対称な位置になっているか確認してください。

- [1 2] 速度制限表示（トラクタ用）をトラクタの運転席から良く見える場所に貼付けてください。

けん引時運行速度15km/h以下

速度制限表示（トラクタ用）

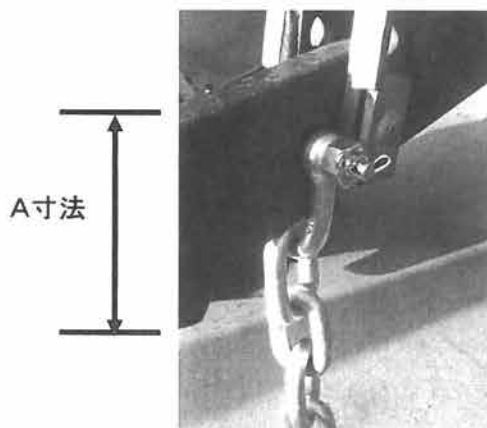
（２）セーフティチェーンの組付け手順

本アタッチのセーフティチェーン（以下、チェーン）はさまざまなトラクタに対応するため、長めのチェーンが付属しています。

トラクタ側のチェーン取付け位置にもよりますが、直進時はチェーンが張られ、旋回時にはチェーンが垂れる傾向にあります。チェーンを取付ける際には長さに十分注意し、余分なチェーンは切断するなど走行の妨げにならないようにしてください。

- [1] トラクタ側と作業機側の両方でボルトナットシャックル12を使用し、チェーンを組付けてください。

- ◆トラクタのロワーリンクにチェーンを組付ける場合は、下記A寸法の大きさにボルトナットシャックルを使い分けてください。



マニアスプレッド用テールランプアタッチの組付け

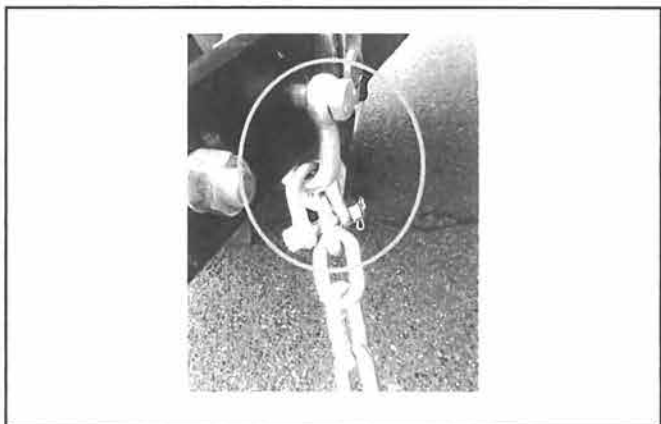
○ロワーリンクのA寸法65mm 以下の場合

ボルトナットシャックル12を使用して
ください。

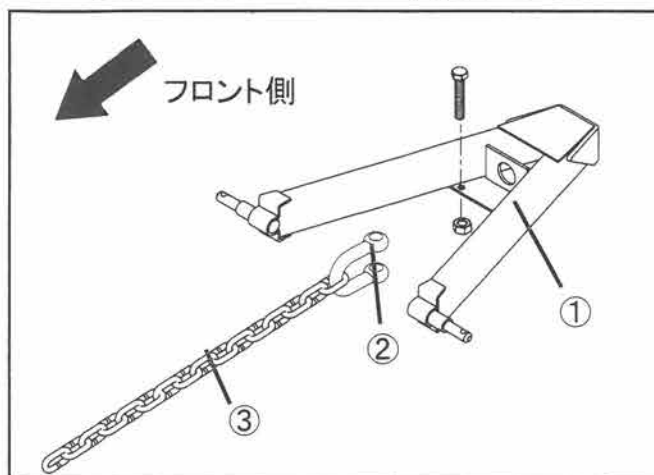


○ロワーリンクのA寸法65～95mm の場合

ボルトナットシャックル16と12を使用して
ください。



[2] 下図の様に、本機の①ケンインカンに②
ボルトナットシャックル12のボルトを
通して、③チェーンを組付けてください。



注 意

ボルトナットシャックルの抜け止めはワ
リピンを使用せず、ヌケドメスナップピン
を使用して抜け止めを行ってください。



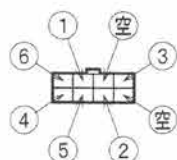
ヌケドメスナップピンは反時計回りに
回しながら抜くと抜けます。



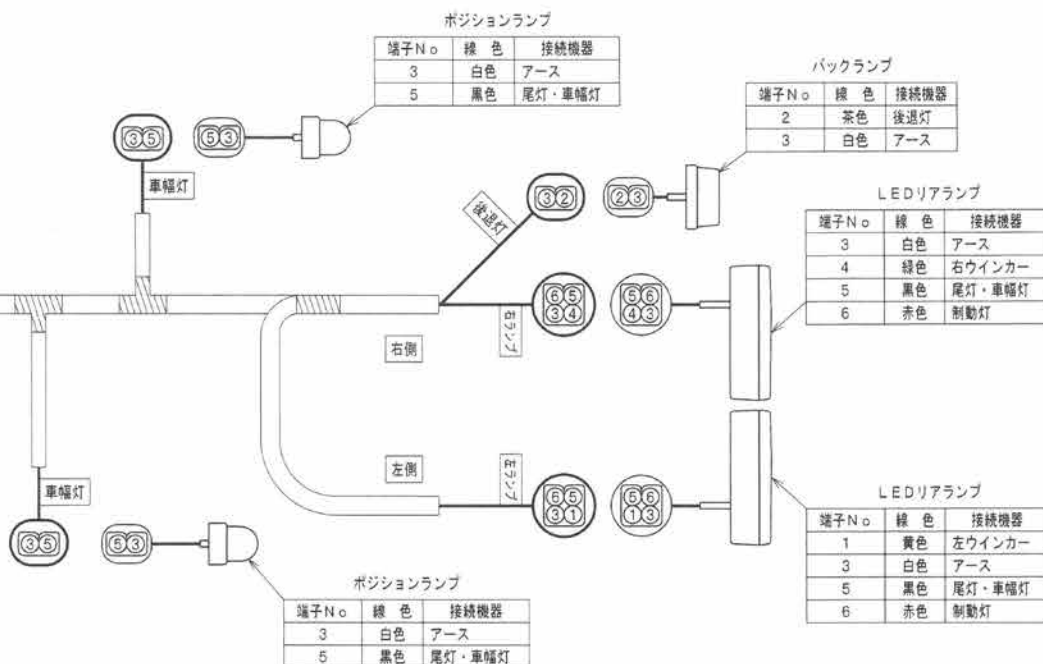
配線図

DL810-TL

端子No.	線色	接続機器
1	黄色	左ウインカー
2	茶色	後退灯
3	白色	アース
4	緑色	右ウインカー
5	黒色	尾灯・車幅灯
6	赤色	制動灯



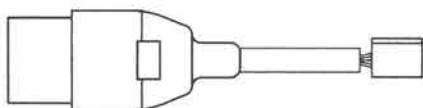
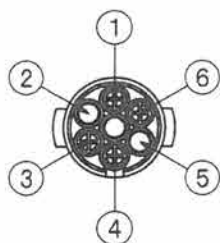
正面から見る



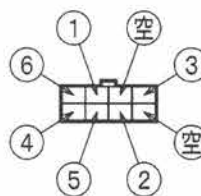
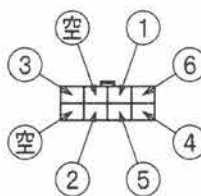
トラクタの灯火装置用ソケットが DIN 規格の場合は、付属の変換ハーネスをご使用ください。

端子No.	線色	接続機器
1	黄色	左ウインカー
2	茶色	後退灯
3	白色	アース
4	緑色	右ウインカー
5	黒色	尾灯・車幅灯
6	赤色	制動灯

端子No.	線色	接続機器
1	黄色	左ウインカー
2	茶色	後退灯
3	白色	アース
4	緑色	右ウインカー
5	黒色	尾灯・車幅灯
6	赤色	制動灯



変換ハーネス



正面から見る